豊田市再犯防止推進計画 パブリックコメントの実施結果について（詳細版）

【実施期間】	令和3年12月6日 から 令和4年1月5日 まで (Eモニターは令和3年12月7日から19日まで)
【閲覧場所】	地域包括ケア企画課、市政情報コーナー、支所・出張所、交流館、ホームページ
【提出方法】	持参、郵送、ファックス、電子メール（Eモニターを含む）
【提出数】	195通（紙提出2通、Eモニター193通）
【意見数】	269件（うち、計画素案に対する意見76件） ※1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理

1 計画素案に対して寄せられた意見分類と件数

項目	番号	意見分類	件数
計画全般に関すること	①	肯定的な意見	4件
	②	否定的な意見	2件
	③	計画の推進	4件
取組の柱1 「つなぎ・見守る」 に関すること	④	就労に関する支援	2件
	⑤	本人に寄り添った支援	12件
	⑥	生活困窮に関する支援	3件
	⑦	専門機関による支援	8件
取組の柱2 「支える」 に関すること	⑧	民間協力者への支援	2件
取組の柱3 「見守る」 に関すること	⑨	市民への周知・啓発	14件
その他	⑩	被害者への支援	5件
	⑪	その他	19件
	備考	特になし	1件
計			76件

【意見その①】肯定的な意見について

No	意見
1	犯罪者の更生は重要なことであり、 可能なことであれば協力したい と思う。
2	今回は全く知らない世界の事だった。最初はちょっと怖い気もしたが、 更生してもらえらなら協力していきたい と思う。
3	「犯罪をした人」といっても、内容や人物によっては支援の意味が無いこともあると思う。括りにしないで、 情状酌量の余地のある犯罪であるとか、精神疾患が無く更正の可能性の高い人に支援をするのであれば、応援したい と思う。
4	<p>豊田市再犯防止推進計画（素案）を一読させていただき、素案とは言え、下記の点のように素晴らしいものに仕上がっていると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計画策定の背景（国や愛知県の動向等）を明確にし、豊田市独自の計画を策定しようとしている。 2. 保護司・協力雇用主アンケート、関係機関へのヒアリングを通しての実態把握⇒地域包括ケア企画課が事務局として豊田市の現状把握・課題の抽出、市役所内関係各課との協議・調整等に努める⇒豊田市再犯防止推進計画策定委員会での検討・協議⇒パブリックコメントによる意見聴取というように計画の策定体制がしっかりと構築されている。そして、一連の流れが大変分かりやすい。 3. 再犯防止推進の視点が明確であり、国と愛知県とのかかわりの中で、豊田市が再犯防止においてどのような役割を果たすべきか示している。 4. 計画の成果目標と評価指標を具体的に明示している。 5. 重点施策（つなぎ・見守る、支える、理解する）が具体的に明示されており、今後どのように計画を推進していこうとしているのが明らかになっている。 <p>上記の5点に感心するとともに、今後の取組に期待しています。豊田市再犯防止推進計画の策定にあたって地域包括ケア企画課の皆様がご尽力くださっていることに深く感謝申し上げます。本当にご苦労様です。計画の策定が完了後は、保護司・更生保護女性会、協力雇用主、市役所の各関係課、関係機関等が計画の中身を熟知し、行動連携できることを祈念しています。</p>

⇒ 【事務局回答】

- ・ ご意見ありがとうございました。

【意見その②】否定的な意見について

No	意見
1	多くの人は罪を犯さずに一生を過ごす。罪を犯す人はごく一部。そのうち半分くらいが再び罪を犯す。となれば、全体に対する再犯者の割合はもっと少なくなる。 その少ない母数に対して予算であったり時間を使うことが得策とは思えない。
2	犯罪者には罪を償った後も相応の社会的制裁が必要。 犯罪者に支援する資金をもっと他の子育て世代に使うべき。 犯罪をする人の心理は一生変わらないことがほとんどであり、そこに資金を使うのは納得がいかない。

⇒【事務局回答】

- ・ 本計画では、対象者を「犯罪をした者又は非行少年若しくは非行少年であった者で福祉的な支援が必要な者」としており、具体的には、本来は福祉サービスを必要としていても、福祉につながらなかったことで生活困窮や社会的孤立等に陥り、やむを得ず罪を犯してしまった方を想定しています。
- ・ こうした対象者を支援することで、再犯を防止し、市民が安全・安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

【意見その③】計画の推進について

No	意見
1	再犯する人と、再犯しない人の状況をよく分析し、 再犯しないモデルを確立することが望ましい。
2	刑事司法関係機関から情報提供を受け、支援につながった人の割合の目標が逆ではないか？
3	再犯防止の内容や分析の精査が足りない。 再犯防止のあり方に対する市民の見方や専門家の取り組みの現状と課題をまず深掘すべき。
4	もっともな計画が記載されているが、 実施、展開は難しそう である。

⇒【事務局回答】

- ・ 計画全体の進捗を評価するための成果目標と、取組の柱に位置づけられた事業の進捗を管理する評価指標を設定し、計画の進捗を管理してまいります。
- ・ また、刑事司法機関や学識経験者等で構成する「豊田市再犯防止推進委員会」を新たに設置し、再犯防止の取組を進める中で明らかになった課題等を共有・分析し、より良い取組となるよう協議を進めてまいります。

【意見その④】 就労に関する支援について

No	意見
1	会社の経営者に理解してもらって、就職先を増やす。
2	再就職できる場を多く提供すると良い。

⇒ 【事務局回答】

- ・ 就労に関する支援については、本人の意向をもとに、ハローワーク豊田の専門援助部門や市役所内の常設窓口である「豊田市福祉就労コーナー」と連携して支援を行ってまいります。
- ・ また、保護観察所が実施する事業所等に対する周知・啓発等の取組に対して積極的に協力することで、犯罪をした者等の受入を積極的に行う「協力雇用主」の登録を促進してまいります。

【意見その⑤】 本人に寄り添った支援について

No	意見
1	犯罪者の再犯率が高いのは、出所後の生活が不安定なことや、世間の人たちの思いやりの無さだと思う。実際そのような人に出くわすと避けて通ってしまう。やむを得ないと思うが、その事が結局再犯を繰り返してしまう。保護司や行政が思いやりを持って、市民の人達と一緒にあって出所者の安定を支える事が出来たら再犯率は下がるのでないか。
2	他人とのかかわりあいの希薄さが犯罪へと走るきっかけになっていると思う。再犯防止として、いつでも気軽に相談できる相手の確保と、その存在を知ってもらうことが犯罪抑制や再犯防止につながると思う。
3	親身になって、相談できる組織や人材を確保するべきだと思う。孤立させない活動が必要と思う。
4	社会全体に周知させることより、その人達の生活圏内、身の回りの人々へどんな支援や理解、協力が必要なのかを具体的に伝える。それについて周りの人の意見を当人に伝える。それは、双方にとって必要なことだと思う。
5	罪を犯した人を孤立させるのは更なる犯罪を生むことになるという点はその通りだと思う。人との繋がりが犯罪抑止力になると思う。
6	つなぎ・支える・理解する、どれも必要なことだと思うが、中でも「支える」が重要だと思う。どれだけ理解しても、支えなければ当事者に届かないと思うからである。再犯者にならず、一人の市民として日常生活を送ることが出来る環境を提供することが必要だと思う。

7	資料を見ると再犯率が高いので、 何年か気にかけてあげる人が必要 だと感じた。
8	定期的にフォロー することが大切だと思う。
9	再犯をしないように生きていくために、 助けてあげる場所も必要 だと思う。一人一人の事情が異なるので、 個々に合わせた支援 ができるようになると良いと思う。
10	犯罪の未然防止に全力を尽くすのがベストと考える。普段よりのコミュニケーションが、異変を感じ取れる身近な手段でないかと考える。中学生はもちろん、小学生でも路上での通行時によく挨拶をする事がある。自分からもするが子供の方からよく挨拶の言葉がかけられる。気分が良いし異変を感じ取れるチャンスでもあると思う。
11	再発防止の活動については、一人では大したことはできそうにないが、支援団体組織としての活動が成果を上げれる方法ではと思う。自分も組織の一委員としては大いに貢献する事に人力する事を惜しまない気持ちでいっぱいである。
12	当事者が無職ということは、その家族も困っている状態にあるのではないかとと思う。生活が不安定だから罪を犯すのか、職に就くこと自体が難しいから（その知的能力も含め）罪を犯すことについてハードルが低いのか、 当事者だけをケアするのではなくその家族全体をフォロー できるといいと思う。

⇒【事務局回答】

- ・本市では、重層的支援体制推進事業として、身近な地域で世代や属性を超えて相談を受け止め、必要な支援機関につなぎ、多機関の連携の下で支援できる体制となっています。
- ・こうした体制の下、対象者が地域で社会生活を送る中で、様々な立場からの見守り、関係者間での定期的な情報交換等により、対象者が孤立しないよう、伴走型の支援を行ってまいります。

【意見その⑥】生活困窮に関する支援について

No	意見
1	生活に困窮していなければ、犯罪・再犯を起こす人も減少する。 困窮者が分かりやすい・活用しやすい生活補助があると良い。
2	罪を犯すのは、社会の生きにくさを表しているように思う。格差社会なので、親が貧困だとその子供は小さい時から我慢の生活をしているのかなと思う。 せめて住むところと食事、衣服は不自由しなくてもいい世の中になってほしい。
3	貧困から抜け出せず、生きる為に罪を犯す人もいる。そういう人には、 仕事や家など生活が安定するよう にある程度の支援は必要だと思う。

⇒ **【事務局回答】**

- 生活困窮者自立相談支援事業をはじめとした各種制度に確実につなぎ、対象者に寄り添いながら支援を行ってまいります。

【意見その⑦】 専門機関による支援について

No	意見
1	再犯防止への対策として最も重要なことは 科学的な見地に基づくこと、特に医学的なアプローチが欠かせない と思う。素人では対処できない分野については行政で体制を整備していただきたいと思う。
2	市民レベルより、 専門家の意見がより重要 と考える。
3	専門家の人を増やす。
4	市民は当事者とは普通に接することと思う。 更生については、保護司等のプロの支援に委ねるべき と思う。
5	昔は生活苦から『泥棒にも一分の理』があると言われていた。生活が改善したら再犯が無くなった。生活様式の多様化の現代において再犯率は6割を超える。もう、『泥棒にも1分の理』では説明が付かない複雑な事情が絡み合って罪を犯す。再犯防止策は就労・福祉・医療・住居・保健と多岐に渡り対処しなければならない。やはり、 地域コミュニティでは限界があり警察や行政に頼るのが一番良い 。罪を犯した人を再び罪を犯さないように、市役所の特定部署だけでは解決は困難。市役所の各部署が横断的に専門チームを作り取り組む必要がある。
6	周りの理解も大切と思うが、もっと 刑期中に一人一人に合わせた対応ができる といいと思う。
7	現状の中に、刑法犯の検挙者数、検挙者中の再犯者数は毎年減少しているが、再犯者率は増加傾向とのことだが、一度罪を犯す人は何度でも同じことを繰り返すのだと思います。 刑務所での更生が重要な役割を持つのではないか と思う。
8	再犯率が高いことを良く聞く。しっかり更生させて社会に戻ってこられる仕組みを作って欲しい。中途半端に戻って来るから、繰り返すような気がする。

⇒ **【事務局回答】**

- 重層的支援体制推進事業の中で、対象者の困りごとに応じて適切な支援機関に確実につなぐとともに、様々な支援機関との連携により、伴走型の支援を行ってまいります。

【意見その⑧】 民間協力者への支援について

No	意見
1	再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やすこと。その人の税金を安くする。
2	<p>「重点取組 更生保護活動を行う民間協力者への支援の実施」について、同活動を行う民間協力者として重要な協力者である保護司適任者の確保については、喫緊の課題であり、豊田市においても、今後定年等で半数以上の方が辞められることが見込まれると聞いております。</p> <p>そのような状況の中、豊田市保護司会においては、保護司適任者の確保のため、保護司の補充が必要な地域から順次、同地域の地区区長や地域会議委員等の協力得て、保護司適任者の情報提供をいただくことを考えているとのことですが、豊田市の協力、情報提供、橋渡し等がなくては行うことができず、今後ますます豊田市に御協力いただくことが必要不可欠であり、まさにこのことが、保護司への支援につながると考えます。</p> <p>よって、豊田市として、保護司適任者確保に向けて、豊田市保護司会の意向を踏まえながら、協力していくことを重点取組、又は民間協力者の活動の促進等などに明記して、保護司や豊田市保護司会の保護司適任者確保に向けた取組を後押ししていただくとともに、豊田市民に御理解していただく機会にさせていただければと思います。</p> <p>総務省や法務省からも、保護司適任者確保等に対する協力を依頼するとともに、協力する方針について地方再犯防止推進計画に盛り込むことの協力等を依頼されていると思いますので、是非御検討いただければと思います。</p>

⇒ 【事務局回答】

- ・ 保護司に対する豊田市表彰・感謝状等の贈呈のほか、民間協力者の活動について広く周知・啓発してまいります。

【意見その⑨】 市民への周知・啓発について

No	意見
1	再犯防止の周知を強めると私のような人にも伝わるかと思う。
2	まだまだ PR 不足でこの事業が見えない。 もっと啓発事業に力を入れるべきである。
3	市としてこのような取り組みをしていることを知らなかった。大方の市民がそうだと思うので（今回のアンケート自体が、『突拍子もない』という印象を受けた。申し訳ありませんが。） まずは認知度を高めることが必要 だと思う。

4	身近で起きてない事なので実感がわかないため想像でしかイメージができないので、もっと身近にふれてイメージがつくと市民の人達の考え方や受け入れ方も変わってくると思う。 もっと発信してもらえたらいい。
5	分からないことを、いい加減にやってみても良くないので情報をしっかり発信して、周りの人がどうすべきかちゃんと把握しなければならないと思う。
6	わたしたちの税金を使う場合に、市民の理解を得られるような活動も必要になってくると思う。市民の理解を得られないまま税金を使うと、「理解する」ことが出来ず、当事者にとって住みづらいことにつながってしまう気がする。
7	学校で講習をする。
8	社会全体のリテラシーの向上から図るべきではないかと、漠然と感じる。
9	罪を犯した人がどうしてそういうことをするに至ったか、よく分からないし、民間で再犯防止の活動をすれば犯罪が減るのか。再犯というのはよくあるのか、そういったことが全く分からない。
10	社会全体にとって、「再犯防止」策を講じることが大変重要な課題であることは理解できるが、どうすればよいのか？ 更には、 具体的に自分がどのようにかわれるのか？ 全くイメージができない。
11	犯罪をした人への支援は必要であるし、再犯を防止することが私たちの安全な生活につながると理解できるが、身近なことに捉えるのは難しい。
12	大切なことだと思うが、どうすれば良いのかわからない。
13	あまり知らないし進んで知ろうとは思わない。
14	どれだけの出所者が豊田市にいるかわからない。現状を知りたい。

⇒ 【事務局回答】

- ・ 刑事司法手続きの流れ、矯正施設内での改善指導、保護観察制度、保護司をはじめとした民間協力者の活動など、再犯防止に関する取組は地域住民等にあまり知られていない状況となっています。
- ・ 市民等に対して、広報とよたをはじめとした、様々な媒体を活用し、再犯防止に関する周知・啓発を広く行うことで、市民等の理解を広げ、再犯防止の取組に協力していただける人の増加につなげていきたいと考えています。

【意見その⑩】 被害者への支援について

No	意見
1	犯罪をした人以上に、その 家族、またそれ以上に、被害者とその家族への支援の方に重きをおいて はと思う。
2	日本は加害者天国だと揶揄する意見があるように、 加害者の更生も必要だが併せて被害者への配慮 も考えていかねばならない。被害者が肩身の狭い思いをして生きていくのはおかしいと思うから。
3	再犯防止は重要だと思うが、 被害者感情の配慮 が必要ではないか。
4	再犯防止の活動は必要なことだとは理解できるものの、過保護になることが心配。 被害者に対するケアも同時に考えることが必要 だと思う。
5	罪を犯した人の立ち直りも必要だが、 被害者の立ち直りがもっと必要 ではないかと思う。被害者の立ち直りについても市で支援して欲しいと思う。

⇒ 【事務局回答】

- ・ 犯罪被害者への支援については、犯罪被害者等基本法に基づき、警察が中心となって様々な支援が行われているほか、検察庁、裁判所、愛知県、弁護士会、民間団体等による被害者支援も行われています。
- ・ 市としては、犯罪被害者等から相談があった場合、警察の相談窓口を紹介するなど、既存の支援制度に確実につないでいきます。

2 選択形式による意見集約（Eモニターのみ）

問1 再犯防止のために、犯罪をした人の立ち直りを支援することについて
どう思いますか？

選択肢	人数
必要だと思う	88
どちらかといえば必要だと思う	80
どちらかといえば必要だと思わない	10
必要だとは思わない	5
わからない	10

問2 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか？

選択肢	人数
協力したいと思う	11
どちらかといえば協力したいと思う	46
どちらかといえば協力したいとは思わない	91
協力したいとは思わない	45
わからない	0

※ 問2で「協力したいと思う」「どちらかといえば協力したいと思う」と回答した
方に質問

問3 どのような協力をしたいと思いますか？（複数回答可）

選択肢	票数
犯罪をした人に直接会って継続的に助言や援助をする	5
協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主）として、犯罪をした人を雇用する	0
更生保護施設（出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設）にお金や品物などを寄付する	9
再犯防止に関するボランティア活動に参加する	26
広報・啓発活動に参加する	20
インターネットを活用して情報を発信する	5
その他	0
わからない	11

※ 問2で「どちらかといえば協力したいと思わない」「協力したいとは思わない」と回答した方に質問

問4 協力したいとは思わない理由を教えてください。(複数回答可)

選択肢	票数
自分や家族の身に何か起きないか不安だから	74
犯罪をした人と、かわわりを持ちたくないから	54
犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから	77
自分自身にメリットがないから	19
具体的なイメージがわからないから	43
時間的余裕がないから	38
興味が無いから	2
犯罪をした人に支援などするべきではないから	8
その他	10
わからない	1

その他と回答した人の理由

その人の罪を犯した理由による
罪を犯す人は再犯する可能性が高いため、巻き込まれたくはありません。
再発防止させる事ができるか？
専門家が取り組むべき領域
自分の子供だけで精一杯
具体的にどのような活動が支援に繋がるのかイメージできない。また、協力出来たとしても、その人が犯した犯罪の程度にもよるから。
犯罪をする人はされた人の気持ちを考えていない。自分勝手な人間にはイライラする。
信用ができない。裏切られる怖さ。
責任が付いてくると思うので、専門的な知識や経済的な問題がある。
犯罪をした人本人が、本心で矯正する気持ちがあるのか？

問5 再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか？（複数回答可）

選択肢	票数
刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による一人ひとりの問題性に応じた、きめ細かな指導や支援を充実する	107
仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる	100
犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する	34
被害者の置かれた状況や心情を理解させる	89
当事者以外の市民等が再犯防止について理解し、見守る	32
その他	11
わからない	16

その他と回答した人の理由

<p>罪を犯してしまった人の中にはやむを得ずそうしてしまった人もいると思うけれども大半は悪い心を持って犯した事件だと思う。そういう人はどれだけこちらが親身になっても、伝わらずこちらばかりの気苦労が増える。そんな犯罪者のために税金を使うのも腹立たしい。被害者の立場に立つことができないであろうし、再犯の可能性も大きい。だからこういう人たちは病気だと思うから病気の治療したほうが良いと思う。</p>
<p>特になし</p>
<p>罰を厳しくする</p>
<p>犯罪を起こす人は必ず孤独な人だと思うので、コミュニケーションが苦手な人にも相談できる相手確保することと存在を理解してもらうこと</p>
<p>特になし</p>
<p>一律ではなく個々への対応でなければ意味がなく、お金も無駄になると考えます。</p>
<p>刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による対応に、一般市民の意見や見方を反映する。</p>
<p>刑務所など出所した後の行動をある程度の期間きちんと把握し見守るだけでなく監視する為の行動報告も必要だと思う</p>
<p>性犯罪をした人には薬物治療がやむを得ないと思います。</p>
<p>罪を犯した人の家族を助けていくこと</p>
<p>どうして罪を犯したのか何度もフィードバックさせる。どうすればよかったのか考えさせる。</p>

問6 再犯防止に関して広く理解や関心を深めるために、市は何をすべきだと思いますか？

選択肢	人数
誰もが参加できる講習会などのシンポジウムを充実する	22
広報とよたなどでの紙媒体で情報発信する	46
ホームページやSNSなどのインターネットでの情報発信を充実する	20
パンフレットやポスターを増やす	9
再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やす	22
学校の授業で取り上げるよう働きかける	39
その他	10
わからない	25

その他と回答した人の内容

定期的なボランティア活動への参加を促す
再犯防止の理解を深めると言う事は、罪を犯しても社会に受け入れてもらえると言うのが安易な気持ちで広がって欲しくない。
犯罪者の個人情報公開する。再犯の危険があるなら犯罪者が今どこに住んでいるのか知っている権利がある
ドラマで保護司の人が出てくると具体的によくわかる。からテレビなどで紹介したり実際に協力している人のことを取り上げたりしたらいいと思う。
この選択肢にある全てのこと
当事者と普通に接することです。
学校授業での取り上げは小学生低学年には特にあまり好ましくないと思います。
具体的な支援、専門家によるカウンセリングの機会を作ったり見守りや併走してアドバイスできる人材の育成等
刑事司法関係機関（刑務所、少年院、保護観察所等）による対応に連携して、市ができることを。
就職できる会社を増やす

【問7】再犯防止に協力する民間協力者として知っているものをあげてください。（複数回答可）

選択肢	人数
保護司	123
更生保護女性会	9
協力雇用主	16
BBS会	2
更生保護施設	70
いずれも知らない	52
分からない	0